

NOTE BOOK

MADE OF THE FINEST PAPER PREPARED IN JAPAN

敬学会賞第十九回入選作品



まつのけんきゅう



413

栗野和之

陽光
A
20

SYOWA

SYOWA NOTE CO. LTD.



目次

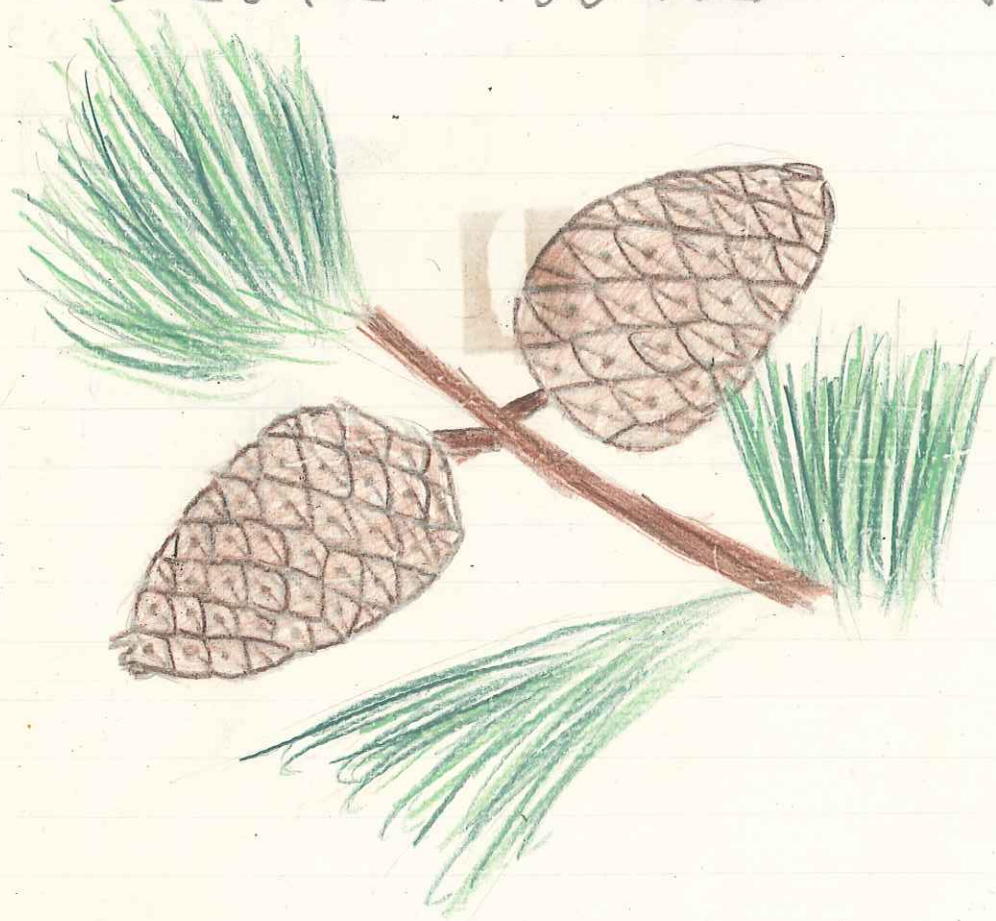
- | | | |
|--------------|-------|----|
| 1. 研究したわけ | 2ページ | 2 |
| 2. 松かさについて | 3ページ | 3 |
| 3. 松の種類 | 4ページ | 4 |
| 4. 私達とのつながり | 15ページ | 15 |
| 5. ふしぎに思ったこと | 18ページ | 18 |
| 6. まとめ | 19ページ | 19 |
| 7. 見た本 | 21ページ | 21 |

石研究したわけ

去年の11月^(近所の)高橋さんのおじさんが松の
手入れをしていた。下に落ちたえだ
には松ぼっくりがたくさんついていた。
それを見てぼくは、どうして松ぼっ
くりがつくのかなあと思ったので言周
てみようと思った。

松かさについて

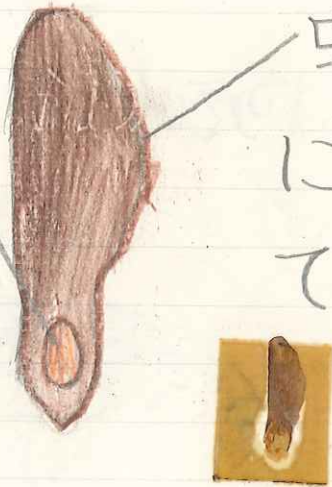
高橋さん^{松かさを}見るとこの図のように、えだに松
かさが2つ、向かい合ってついていた。



少し開きかかった松かさを見ると魚のう
ろこのようなものの中に種が入ってい

た。ポロポロと落ちてきたのでひろって見ると図のような形をしていた。

ごまつぶのよう
みかあって
かたい。



虫のはねのよう
にうすくすきとお
っている。

○ 今年の4月20日、ぼくの^{あるこようの}うちに松を見
ると、えだの先が図のようになっていた。



先から6cm位のところは、緑色で毛
がはえたようになっている。

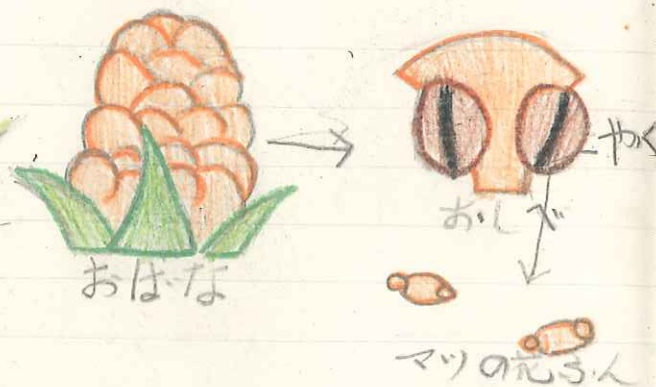
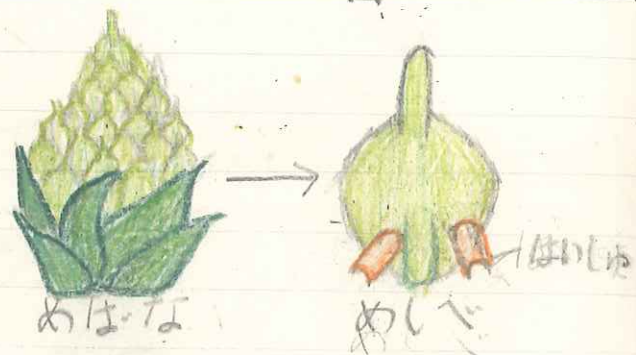
その下に、長さ、5mm、はは、3mm位
の米つぶのような形をした、みかん色
のつぶつぶが、まわりについていて、
さわって見ると、豆のような感じがし
た。

○ 5月10日に見た時は、みかん色のつぶ
つぶが、たくさん、ついていて、手でさ
わると、この前は、かたかったのに、スポ
ンジみたいに、フカフカ、ふくれていた。
えだを指でさわって、ふるとこなかパー
ツとこぼれた。

松の木の高さは、1m23cmだった。

図のように書いてあった

○ 本を見るとこの



春にのびた新しいえだの先に、め花が
つき、根もとにはお花が集ってついてい
る。花ひらはない。

め花にはめいべがありめいべには、
はいしゅが2つある。

お花はみかん色のつぶつぶで中には
おしべがあり、やくというふくろのような
ものが2つ、ついている。やくの中には、
花ふんがたくさん入っている。

花ふんは、目で見ると、ジュースの
こたなのように見えるが、ゲンビ鏡
で見ると○こんな形をしている。

時期が来ると、やくかわれて、中
から、花ふんが、外にこぼれる。

小さくて、かるいから風に吹かれて、
遠くまで飛ぶ。

お花の下の方に小さな松かさがつ

- いている。
- へちまのように、め花とお花のくべつがある
- 花ふんがめしべの先につくと、はい種が育て種子になる。
- 種子の中には、芽が出て、やがて、植物体となる部分が入っている。
- サクラのようにはい種が子房にふくまれている植物やエンドウのようにたねがからにつつまれているものを**ひし**植物といい、マツのようにはい種がつつまれていない植物を**らし**植物という。

○ 又、おかあさんに聞いた話では、

マツ

- の葉は、針のように、細長くとかっている。このような植物を針葉^{しんよう}じゅという。
- マツは、1年中緑色の葉をつけているので常緑^{じょうりよく}じゅである。
- 6月10日、
家の松の木の高さは1m37cmにのびていた。
先のものついたような部分が9cm3mmになっていた。
お花^{はな}は落ちて、6つしかえだについていなかった。
- 7月29日、
秋田の海に行った。海辺にそって松林

があった。みんな3m位の高さで木の
色が黒い色をしていた。黒松というのだそ
うだ。海岸はみんな黒松だとの事だ。

年中、強い海の風にあたって、松の木が
海と反対の方に、かたむいていた。

松かさは、まだ、緑色でかたかった。

○

8月6日、

白布高湯に行った。旅館の前にある松は
木の色がしんが色だった。

旅館の近くの川の所にもたくさん松林が
あった。これは赤松といって、山にあるの
だそうだ。又、町中や家で見られる松
も赤松だ。白布とうげに登った時は、松は、
なくて、白かばだった。ふもとに来てから、

松の木があった。あまり高い山には赤松
はないんだなあと思った。

○

8月19日、

かじょう公園で松かさをひろった。

茶色でうろこが、少し開きかかっている。
種子はうろこのうらかわに、ぴったりつ
いていた。

○

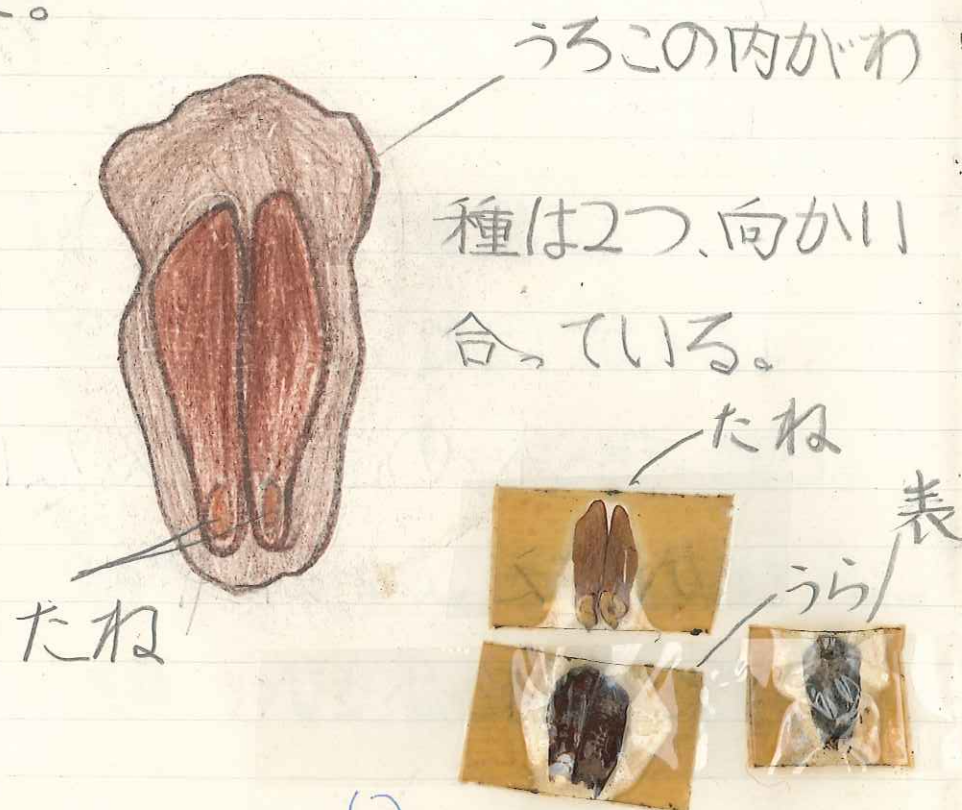
10月3日、

松原に行った。松の木がたくさんあって
みんな10m以上の高さだ。木の太さは
ほくがたくとまだ手の間が30cmも
あった。木の色はみんなしんが色である
木かはえてから100年近くなっているとの
事だった。松かさがいいはいい落ちていたか

みんなうちこが開いて種がないものが
多かった。

えだを見ると、針のような葉の間に、まつ
かさがついていて、これが松の実だ。

茶色に開きかかった、まつかさをひろった。
まつかさのうちこのようなものの後ろには
2枚の種が向かい合、てしっかりとつ
いていた。



○

たねについているはねでぐるぐる回
て風に吹かれて、遠くまで飛ぶ。

○

まつかさはお天気を知らせる。空気中
の温度にんげいて、晴れている日は、
よく開く。雨やくもりの日はまつかさはと
じる。

○

10月24日。

家のごよう松は、1m67cmになっ
ていた。

5月10日から今日まで44cmも、の
びていた。春、花がさいたところは
のびて小えだになり、先に葉がつ
いている。

松の種類

寒い地方で育つ、えぞ松、とどろ松、
高い山などにあるせのひくいはい松、
家の近くにある、五よう松、大王松、
若松、
春に若葉が出て、秋に葉の落ちる、から
松などがある。

私達とのつながり

○

松は1年中緑色の葉をつけているので、庭や植木はちに植えて、人々の目をたのしませてくれる。

花はさくらや梅のように美しくはないが、緑なので、他の花をひきたてて、美しく見せてくれる。

春、さくらのさくころ、さくらにまじって、松があると、たいへんけしきが美しく見える。

又、秋、山の木が紅葉するころも、松の緑が、ところどころにまじって美しい。日本は、けしきの美しい国といわれている。

るが、松が多いのであたりのけしきを
いっそう美しいものにしていると思う。

日本三景の、松島、宮島、天の橋立など
みんな、松がある。

- お正月、昔は、かど松といって家のげん
かん^{ある}に松をかざったそう^で、今も松か
ざりというのが残っている。

又、お正月や、めでたい行事の時松を
とこの間やつくえに、かざる。

これは、松は常緑じゅで^ふ、ろう長じゅの
木という意味があるからだ。

- 寒い北海道や、からふと、にあるとど
松や、えぞ松は、パルプになる。

パルプは、紙の原料や、おり物の原

料として使われる。

- 松は、用材として、家をたてる時に使
われている。

- 海辺にたくさん松を植えておくのは
防風林のためである。

- 松には、オゾンがあるので、空気をき
れいにする。だから、松の多い山や、
海辺は、人の健康のために大変よ
い。

こんなにたくさん私達の生活に役
立っていることがわかった。

ふしぎに思ったこと

高橋さんの家のは、去年あんなに
松かさがついたのに、今年は上の
方にちつぐらいついたただけだった。
又、ぼくの家は松の木のごよう松
は、毎年、花はさくが、全ぜん松かさが
つかない。どうしてなのだろう。

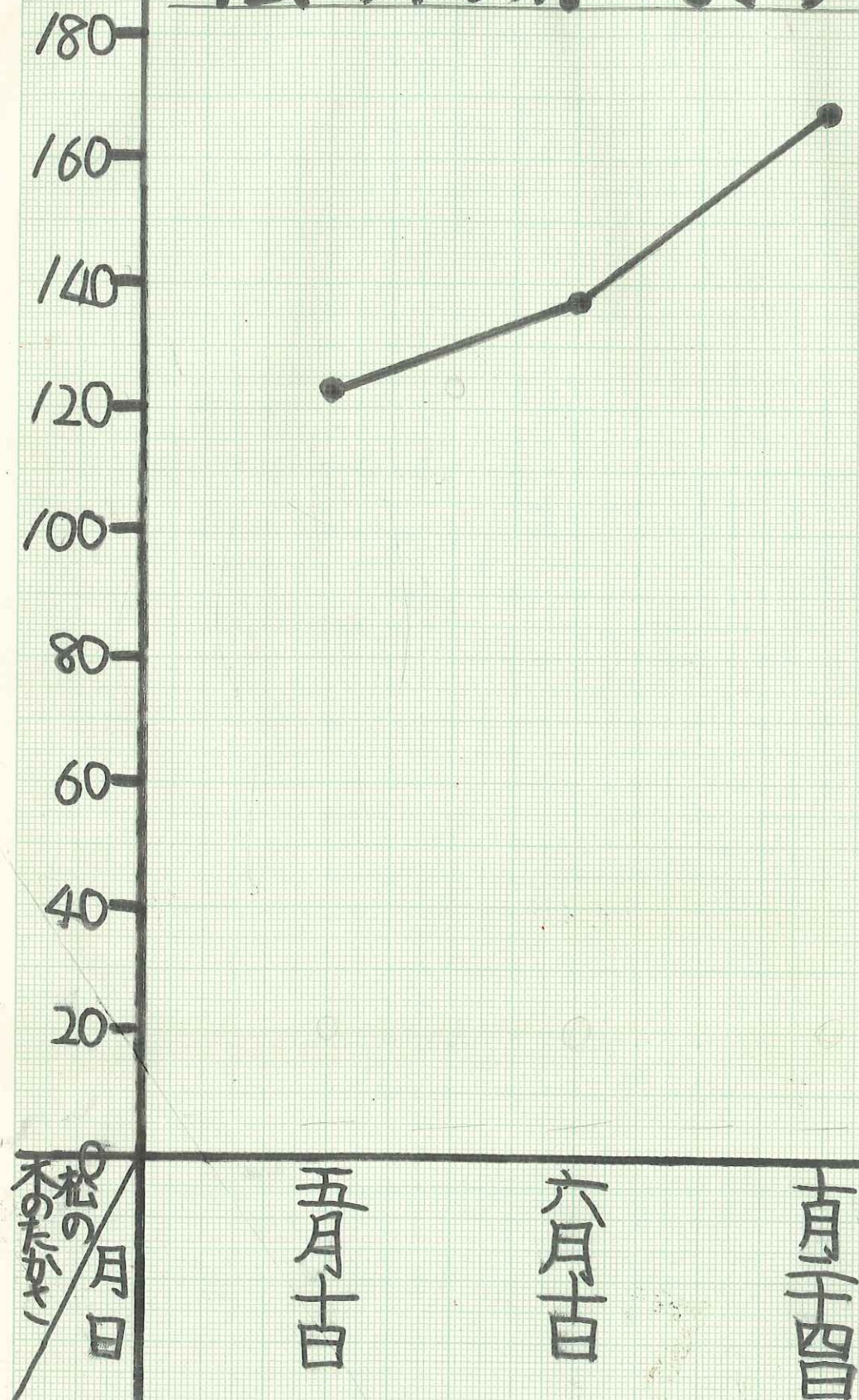
まとめ

ぼくがしらべて、わかった事は、松
かさは、お花とめ花があり、お花に
は、おしべがあって、おしべの中に、
2つのやくという、ふくろのようなも
のがついていて、その中に、花ふん
がある。その花ふんが、風や虫に
よってめ花のめしべにつくと、たんた
ん大きくなって、松かさとなる。
松かさは、たんぽぽのように、たく
さんのめはなが集って1つの松
かさとなる。

又、松の木は私達とのつながりで
わかったように、ぼく達の生活に

大変役立っている。

松の木の育つようす



見た本

中学校理科1年

(31. 133ページ)

科学ブック第8号「野山の花や木」

おとうさん、おかあさん